

街中にまつばらがやってきた！

京學堂 岩陰デー



京都先端科学大学 京學堂主催の岩陰デーが一月十日に行われました。街中で越畑フレンドパークまつばらさんのお蕎麦がいただけるイベントです。まつばらさんからは木村会長と小野さんのお二方が来られました。

多くの人が開店前から行列を作られ、お蕎麦をおいしく召し上がっておられました。

からかわ昆布やミョウガの甘酢漬けなど、楢原の特産品の販売も行われました。今回は岩陰のゆず（楢原の川合さん提供）を活用した新製品のゆず大根も販売され、好評をいただきました。

やはり、まつばらさんの蕎麦は最高やで。



京都市文化市民局地域自治推進室北部山間かがやき隊
岩陰・水尾地域担当 五明 昇祐
京都市右京区嵯峨楢原宮ノ上町二―五 岩陰出張所
電話 〇七七一 四四 〇三一四

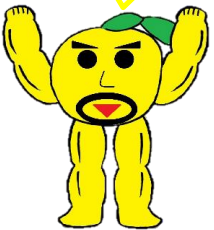
水尾特産品加工組合 新・加工場完成

ゆず繁忙期を迎えるさなか、ついには水尾の方々待望の新加工場が完成し、一月十五日にお披露目会が行われました。多くの来賓の方々に参加され、水尾特産品加工組合の新たな門出です。

十七日・十八日のきょうと農林Special Week にも加工組合が出店し、パッケージがリニューアルされた加工品が多く売れました。

新加工場は水尾の新たな拠点です。今後も水尾の方々が幸福にゆず加工品を作りつづけられますように。

やったぜ。



「御陵さん」をたずねて

先日、東京の八王子の大正天皇陵・昭和天皇陵にお参りしました。参道には京都から移植した北山杉が美しく並び立ち、開けたところに御陵が姿を現します。伏見の明治天皇陵と同じようにコンクリート製の上円下方墳です。

近代以降の御陵は荘厳さを感じさせます。ただ、昭和天皇陵は警察官が巡回しており、警戒感がありました。同じ形でありなおかつ規模も大きい伏見の明治天皇陵は御陵の石段でトレーニングをしている人がいたりとのどかな感じでした。

大阪堺の仁徳天皇陵や履中天皇陵を参拝したこともあります。現代的な住宅街の中にこんもりと森のように御陵があり、中は野生動物の楽園、どことなく不思議な雰囲気を感じていました。

水尾の清和天皇陵は、水尾の山中にあります。御陵の下にはきれいな川のせせらぎが聞こえ、山に抱かれるかのように静かに眠っておられるようです。天皇自身、水尾で眠ることが生前の意思だったと伝わっております。

御陵のある地域の人々は、御陵を「御陵さん」と親しげに呼びます。水尾の人々も、仁徳天皇陵や明治天皇陵の付近の人々も同様です。規模や形、環境は違えども、どこの御陵にもそういう親しみやすさがあるのかもしれない。

ラジオ聴いてね

京の田舎暮らしだより



毎月「京の田舎暮らしだより」の収録に行っています。段々慣れてきて、アドリブを効かせたり、フランクに話せるようになったり。「ラジオ聴いたよ」というお声もいただいております、着々と認知度が上がっているようです。

京の田舎をいかにラジオを通してリスナーの皆さんにイメージしていただけるかがポイントです。より面白く楽しい番組を心がけておりますので、ぜひとも聴いていただき、ご意見あればよろしくおねがいます。

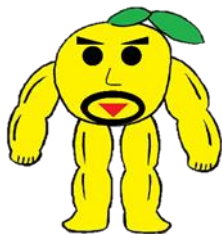
隊員レギュラー出演
「京の田舎暮らしだより」
京都三条ラジオカフェ
FM 79.7MHz
毎月、第2、第4火曜日
12:00 ~ 12:06
2月は11日と25日です！

<http://radiocafe.jp/2019010001/>

↑ここから聴けます！

ないです。

リスナーからは、ゆず郎をもっと特集してほしいという意見が・・・



京都マラソンに向けて

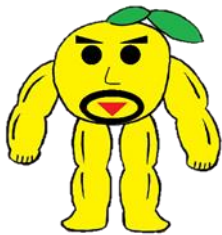
京都マラソンが近づいてきました。周りの方々から応援をいただき、最終調整に入ってきています。

宕陰から走りに来たという意味を込めて、赤地に銀色で「宕陰」と刺繍された鉢巻を特注しました。

寒い中、地域の皆さんも沿道（清滝あたり？）でポラントエアされるとのことです。走れるのはこうした皆さんのご協力あつてのこと、感謝の意を込めて走れるように、がんばります。



来年はゆず郎のシャツを作ってほしいぜ。



日の要慎

▽私は「まんが日本昔ばなし」が好きだ。市原悦子さん、常田富士男さんの二人で、子どもから山姥まで多様な役を演じ分けていたことがすごい。音声だけ聴いていてもその臨場感に圧倒されてしまう。

▽ラジオは、音声だけで臨場感を出すことが大切だ。実際自分の出ているラジオ番組を聴いてみると、いかにリアリティがないかを深々と自覚させられることになる。

▽棚田の雄大さやゆずの香りといったことは言葉だけではなかなか表現できない。言い換えれば言葉にならないほどの魅力があるということだろうか。だが、それは言い訳にはならない。努力が必要だ。

▽先日のラジオの収録では「昔話」を紹介するにあたって、おふざけ半分で「まんが日本昔ばなし」のモノマネをやってみた。もともと市原さん、常田さんの足元にも及ばず。天国の市原さん、常田さん、ごめんなさい。詳しくは十一日の放送で。